

晴香園だより

題字 山本健治先生

おうち縁日

11月5日(土)、おうち縁

日を開催しました。コロナウ
イルスの影響で、恒例の晴香
園フェスタが開催断念を余儀
なくされ、代替行事として、
晴香園みんなで楽しめるお祭
りを実施することにしました。

また、子ども達には、自分が
楽しむだけでなく、楽しませ
ることも体験してもらいたい
ので、学校の先生や、園内ボ
ランティアなど、普段お世話
になつている方々を招待し、
おもてなしすることで日頃の
感謝を伝える行事にしました。

各ホームで、射的・スケーパー
ボールすくい・ウォーターカラ
リー・わなげなど、子どもた
ちと職員で企画から行い、協
力して手作りの屋台を作りま
こそは、地域に広く開かれた、

した。当日の店番も子どもたちが交代制で行い、担任の先生の来園には恥ずかしさもありつつ、嬉しそうに対応する姿がありました。

去年は感染症対策で、ホームごとに時間を区切って屋台遊びましたが、今年は全員が同じ時間と場所を共有し、一緒に縁日を楽しむことが出来ました。嬉しそうに駆けまわり、笑い声をあげる姿に、職員としても安堵がこみ上げます。子ども達にとって、楽しい一日となりました。

一昨年は中止なつてしまつたフェスタも、去年おうち縁日として代替行事で復活し、今年はお客様を招待して、規模をさらに少し大きくしました。コロナ禍ではありますが、晴香園は徐々に以前の様子を取り戻してきています。来年

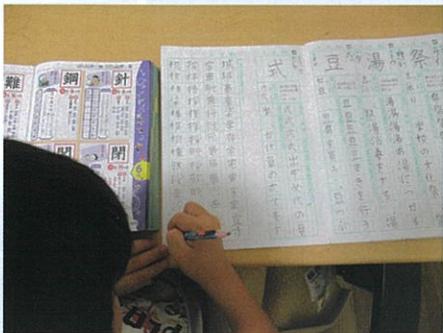
本来の晴香園フェスタが戻つてることを願つてやみません。

また、今回10人の卒園生が遊びに来てくれました。わざわざ県外から来てくれた卒園生もいて、職員としては嬉しい限りです。今年の春に卒園したばかりの人から、10年近く経つ卒園生まで、幅広い年代の卒園生が一堂に会し、懐かしい再会となりました。当

日は用事があつて来られなかつたものの、準備の手伝いを買って出てくれた卒園生もいました。こういった行事をきっかけに、卒園生同士の繋がりが強くなつたり、輪が広がつたりすることは、今、晴香園で暮らしている未来の卒園生にとつても、心強いことです。

改めてご協力いただきました後援会役員の方々、出店いたきましたキッチンカーや企業のみなさま、ご来場いただきました招待者のみなさま、心より感謝申し上げます。





難しい漢字を練習中!

Kくんの得意なことは漢字の書き取りです。漢字の宿題は、ほとんど毎日学校から出るのですが、一字一字丁寧に書くのが上手です。ゆっくり書くので時間はかかりますが、集中力は切らしません。

好きな漢字を自由に練習するスペースには、漢字辞典で6年生の漢字を調べて書いています。難しい漢字を書くのが楽しいのだそうです。

K「かくれマント!」

かくれマント!!って何!?そ

んなのある?調べたところ、「羽織ると姿が隠れて見えなくなるマント」だそうです。羽織つただけで、身に着けて

Kくん(小3)
得意なこと 漢字
すきなもの ドラえもん

生きるって研究会 自尊心を育む

Part.5

写真は、ある日の宿題の出来栄え。とつてもよく書いているでしょう。

Kくんの一番すきな漢字は「炎」だそうです。理由は「かつこいいから!」確かに…。そんなKくん、今年は漢字検定にも挑戦予定です。目指せ、漢字博士!

Kくんのすきなものはドラえもんです。自室の枕元にはドラえもんのマンガコレクションがあつて、毎日寝る前に読んでいます。写真はKくんのお部屋。これ、全部ドラえもんのマンガです。

「かくれマントをもらえた

ら、どうやつて使いますか?」

K「かくれる!」

「だろうね。かくれて何するの?」

K「お店で売り物のどら焼き、たーくさん食べちゃう!」

やはり悪くみ!Kくん、

あんこの和菓子がだいすきで、

そこもドラえもんとおそろい

です。そんな使い方したら、

絶対あとでドラえもんに怒ら

れる運命のKくんでした。

両国国技館の大きな会場と、たくさんの観客と、初めて見る相撲の取組を楽しんでいました。子ども達はやはり吊り出しという技の時には、「わー!」と歓声をあげていました。

「ねこだましがすごかつた」マニアックな技名までちゃんと覚えたようです。今までよく知らなかつた、相撲という日本の国技が、ぐつと近くに感じられた貴重な一日でした。

帰りにみんなで眺めた墨田川も良い思い出です。

大相撲招待

手のひらの大きさにびっくり!

園に戻つてからの、子ども達の感想を紹介します。

「てがおおきかったからびっくりした。またいきたい」

「おすもうのすもうをしているところがすごくおもしろかった」



ドラえもんの漫画を読むKくん!



お相撲さんと握手をしています!

写真は会場で出会ったお相撲さんに握手してもらっているところです。お相撲さんの



いい思い出になりました!

川も良い思い出です。

新規会員ご入会継続会員費

納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会
費納入ありがとうございます。

お名前に誤字、脱字、記載漏れ
がありましたらお詫び申し上げま
す。また、その旨のご連絡を頂き
たくお願い申し上げます。

(今号では、令和4年7月1
日から令和4年10月31日まで
に、ご入会の方及び会費を納入
いただいた方を掲載させていた
だきました。)

(敬称略・順不同)

(有)ウイズラライフ

山田 幸

玉井 敦子

野尻 壽子

タカイ ヤスヒデ

菊池 潔

吉原 美奈子

石川 琢哉

樋渡 利秋

東 廣光

藤田 美千子

小室 祐生

齋藤 義雄

福祉ネットワーク 水の輪

須藤 勝

主任児童委員連絡会の方々

櫻井 克好

高井 保秀

丹生谷 朋子

フクヤマ

セカンドハーベスト・ジャパン

聖光ヶ丘病院

瀧谷 梨絵

水谷 育子

金成 英一

染川 章子

松戸市レディース卓球連盟

神谷 建太

金城 雅夫

吉野 國彦

星 沙和

松戸更生保護女性会

秋元 智

NPO法人imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸市レディース卓球連盟

柴田 和子

猿渡 英明

秋元 智

○花ボランティア

七枝 千夏

○誕生日ケーキプレゼント

永井 幸子
遺言執行人 樋上 正樹
匿名
オガワ ヨシオキ
藤田 南美枝
石井 南美枝
小室 祐生
齋藤 義雄
福祉ネットワーク 水の輪
須藤 晴美
須藤 晴美
浜友観光楽園柏店
アマゾンジャパン合同会社
株式会社チユチユアンナ
小峰 拓寿

心温まるご厚志
ありがとうございました

大野 達也
山中 佳子

ヤマザキ製パン 松戸工場
マルハン松飛台店

株式会社チユチユアンナ
オペラ座

○学習支援
一般社団法人JOEE
○遊びボランティア
○お食事招待
○デイキャンプ招待
市川BBSの会
○ボランティアのご協力
○音楽ボランティア
○ピアノボランティア
猿渡 英明
島田 洋子
(株)ユーライフ
猿渡 英明
(株)北関東ファミリー
島田 洋子
岡野 真歩
恩田 晃江
木元 淳平
月館 聰成
篠原 幸一
浅川 文雄
島田 洋子
飯田 展久
マツカワ カツノブ
東 秀隆
鈴木 良男
本多 みづ子
瀧川 深雪
中村 康子
コストコホールセール新三郷
階枝 正史
(株)ギネスワールドレコード
○音楽ボランティア
黒岩 美津子
石井 田鶴子
ジヤパン
○ピアノボランティア
石井 田鶴子

もちつき大会 開催中止のお知らせ



毎年楽しみにしていただいている
もちつき大会ですが、コロナ感
染拡大防止のため開催中止とな
ります。ご理解賜りますようよ
うお願いいたします。

晴香園だより

晴香園後援会

「晴香園」創立
(2002年10月1日)
二十周年
おめでとうございます。

山田 明夫

コロナ禍収束依然見えない
ある日、感動的な再会！それは
買い物に出かけ、スーパー^{マーケット}レジ係の男性から
声を掛けられびっくり仰天！
そのアルバイト生は開設して
間もない晴香園に入園して來
た幼児Y君で行事ボランティ
ア時交流し始めました。その後定年退職を機に、たつての
希望であつた養護支援のお手
伝いをと晴香園に入職、四〇
人の園児達と五年間生活を共
にしました。開設当初、日々、
何を起こすか分からぬ園児
たちに悪戦苦闘・試行錯誤、奮
闘の日々でした。

時が経ちY君と突然の再
会、彼の成長ぶりに感動。卒園
後一人暮らしで現在大学三年
生。間もなく社会人になる為
に就職活動準備中。
この二〇年間に多数の卒園
生が旅立ち、自立出来ている

事は本当の親・兄姉より親身
になり、身の回りの世話、相談
にできた職員達、そしてあらゆ
る分野から応援を頂いてきた
後援会の方々の力が着実に
「夢の実現」へ向かつて大きく
実っている証と今回Y君と偶
然の再会で感じ感慨無量でし
た。然しながらその反面、未だ
自立出来ず悩んでいる卒園生
のことが心配です。

これから先、一八歳で園を
旅立つ高校生は年毎に増えて
きます。「進路を考える会」を
逐次開き、職員・先輩や後援会
の方々から貴重な助言を頂き
進路準備をしています。先ず
は、集団生活から一人暮らし・
自立が第一。きちんと生活出
来ることが必須です。

現在、全国高校の大学進学
率は五二・七%であるのに對
し施設退所者は一七・八%。高
卒就職率は全体で一七・九%
ですが約六二・九%と大きな
差があります。就職するにも
専門学校や技術取得等選択肢
を広げる為の公的支援も幅広
いければと思いますので今後
分の補充を後援会が支援して
共ご支援宜しくお願ひ申し上
げます。

※寄付金に関する詳細は、
下記にお問い合わせください。
〒270-0011
千葉県松戸市根木内145
社会福祉法人 晴香
TEL.047-345-2722
FAX.047-309-8807
E-mail:info@s-haruka.org

お振込先口座のご案内

後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003235
口座名 社会福祉法人晴香

まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003243
口座名 社会福祉法人晴香

晴香園本紹介コンテスト

応募制で、園内で本紹介コ
ンテストを行いました。優勝
はKくん(小4)。西原理恵子
作「いけちゃんとぼく」を題材
にした作品でした。

でも園便りに載つちゃうの
は恥ずかしい！ということな
ので、今回紹介するのは準優
勝したKちゃん(小5)の作品
です。佐野洋子作「100万回
生きたねこ」を題材にしまし
た。最後、何故ねこが生き返ら
なかつたのか、自分なりの回
答と見ている人への問い合わせ
が印象的な作品です。



「100万回生きたねこ」を題材にした作品

「ねこのさいごの人生は自分
の人生だった。だからもう1
回はいらなかつた」

「あなたの考えは?」

編集後記

広報担当 前田・鈴木

大人になつても自立してい
ても、帰る場所は必要です。こ
れからもずっと、「あいかわら
ず」で待つていようと思いま
す。

もうすぐ年末ですが、みな
さまも帰る場所でゆっくりお
過ごしください。